

幸せを育てる教育まんが

菩薩行の話

ぼ ぞ つ ぎ ょ う は な し



三徳

慈悲

思いやる心がありますか

至誠

持ち続けることができますか

堪忍

堪えることができますか
流すことができますか

日達 四

幸せを育てる本・教育まんが

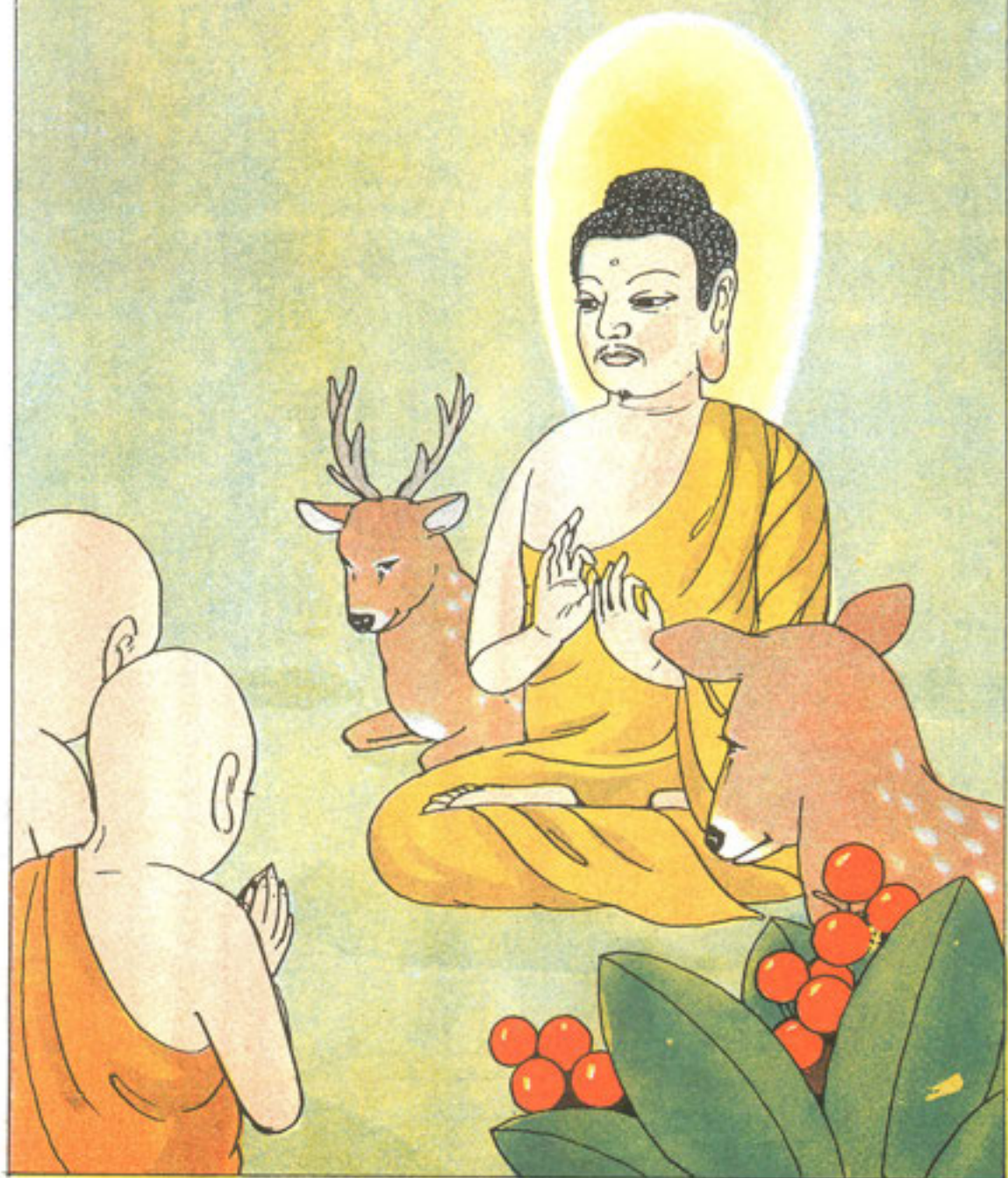
菩薩行の話

ぼ

さつ

ぎょう

はなし



大乘經（妙法蓮華經・序品第一）
の中に、



「声聞を

求むる者の為には

応ぜる四諦の法を説いて

生老病死を度し

涅槃を究竟せしめ

辟支仏を求むる者の為には

応ぜる十二因縁の法を説き

諸の菩薩の為には

応ぜる六波羅蜜を説いて……」

とありますように、この「菩薩行の話」は、

菩薩の六つの修行の話であります。

人が生き甲斐のある生活をするには
菩薩の行に励むことが一番です。

その菩薩行を教えるのが
大乘であります。

「波羅蜜」という言葉は

「度」と訳しますから

六度とも言いいます。

度という字は「渡る」と

いうことです。

河や海を渡ると同じように

迷いの世のなかを渡って

覚りの彼岸に行く

その方法を言うのであります。

その六つの修行・六波羅蜜は

布施・持戒・忍辱

精進・禪定・仏智

であります。



六波羅蜜の第一 (布施)

ろくはらみつ だい ふせ

王さまとたか

おう



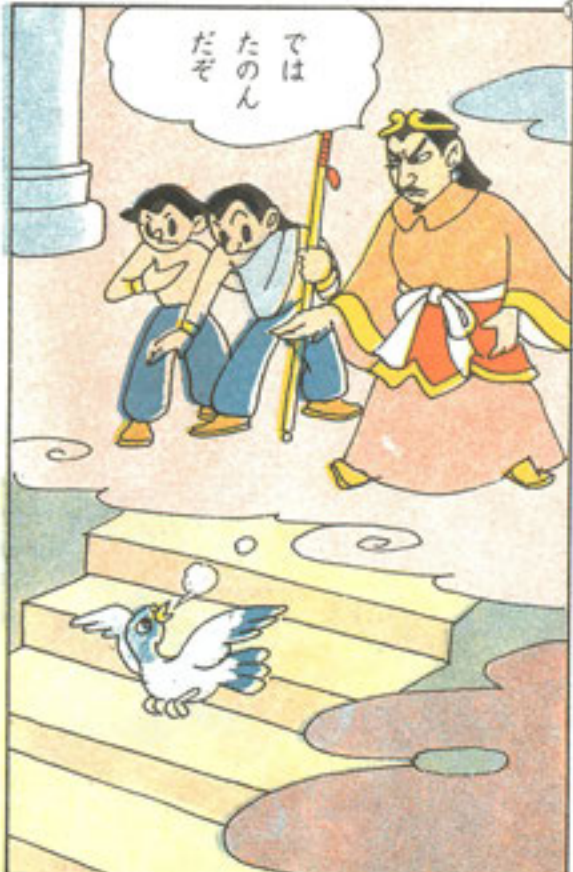




よし
ためして
みよう



シビ王の
布施行は
まことの
心からか
なあー



では
たのん
だぞ



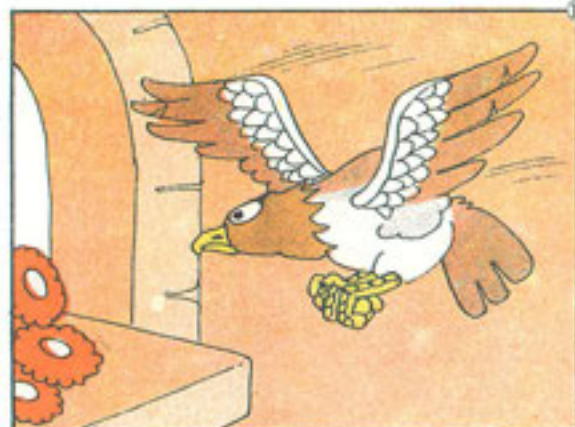
カツマ天は
ハトとなって
王のもとへ
逃げこむの
だ
なるほど
そこで
帝釈天が
タカとなって
追いかけるのか



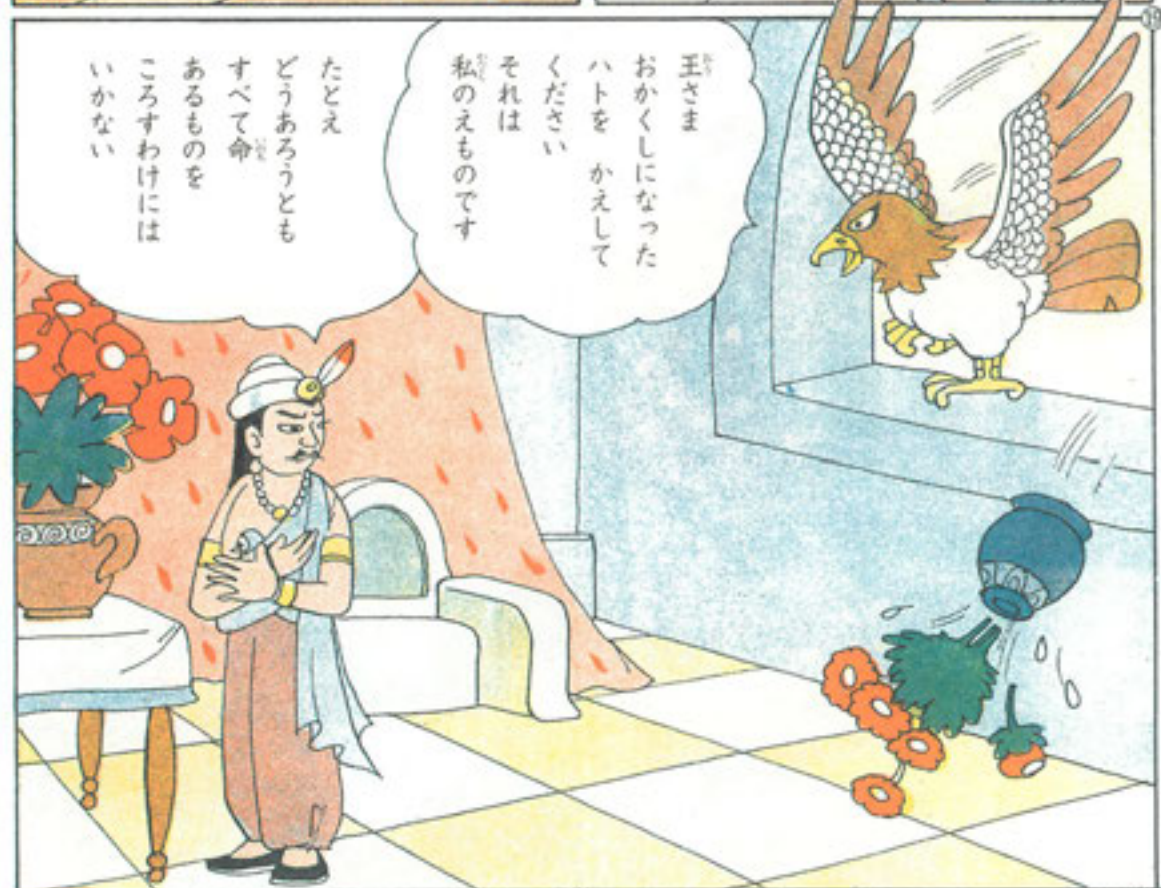
おお
かわいい
ハトが
……



シビ王が
いたぞ



なにかに
おびえて
いるよう
だ



王さま
おかくしになった
ハトを かえして
ください
それは
私のえものです

たとえ
どうあろうとも
すべて命
あるものを
ころすわけには
いかない



すべてを
あわれむ
心なら
私の飢えも
あわれんで
くれる
はずです



私も命あるものの
ひとりです それを
たべなければ 飢えて
死んでしまいます

